

令和4年度 学校評価 目標・改善策(自己評価)

《資料I》

No.	評価項目	R4目標	R4改善策	評価	総合評価 ()は昨年度
1	教科教育	◎資質・能力の育成を目指し、「個別最適な学びと協働的な学び」を実現した授業を行う。 ○教科研究の成果を県内外の学校や教育機関に向けて発信する。	【授業づくり】 □全職員が他の教師の、「個別最適な学びと協働的な学び」の実現を目指した授業実践を、2回以上参観し、「個別最適な学びと協働的な学び」の内容や指導方法についての考えを共有する。	2.9	3.0 (3.4)
			■全職員が、授業内の様々な場面でICTを活用する。	3.4	
			□全職員が、「GRIT」の育成を意識した授業実践に取り組み、「GRIT」の育成と教師の指導のあり方や授業の内容等との関係性について整理する。	2.5	
			【成果の発信】 ■中等教育研究会における、開催の案内や参加申し込みの推進、教科研究の成果のまとめ方や発信方法について工夫する。	3.2	
2	道徳教育	◎年間指導計画の見直しを随時行い、計画的に取り組めるようにする。 ○道徳の評価の検討を推進する。	【年間指導計画】 ■年間指導計画を基に、すべての内容項目が網羅できるよう、道徳部会を中心に通年で計画的に取り組んでいく。	3.4	3.2 (3.2)
			【道徳の評価】 □他校の実践を参考にしながら、夏休み中と冬休み後に道徳部会が評価の方法や文例を提案する。	3.1	
3	SELF	◎ICT機器を効果的に活用し、生徒自らが学びの深まりを実感することができる授業を実践していく。 ○SELFを核とした教科等横断的指導計画をもとにした、教科との横断的な授業を実践していく。	【ICT機器の効果的な活用】 ■各学年のSELF担当を中心に、シンキングツールを端末で積極的に活用したり、振り返りシートの電子化を進めたりするなど、ICT機器を積極的に活用し、深い学びにつながる授業を実践していく。	3.5	3.2 (3.5)
			■各学年のSELF担当を中心に、生徒の授業後の振り返りや成果物を分析し、効果的な指導がなされているかどうかを検証し、次年度の指導に生かしていくための情報交換を適宜行っていく。	3.3	
			【教科横断的な授業の実践】 ■SELFを核とした教科等横断的指導計画をもとに、各教科とSELFで身につける資質・能力との関連を明確にし、教科との横断的な授業を実践していく。	3.1	
			■各教科で連携をとりながら、生徒の授業後の振り返りや成果物を分析し、教科とSELFで関連し合う内容を可視化するためにSELFを核とした教科等横断的指導計画の確認・修正などを適宜行っていく。	2.9	
4	キャリア教育・特別活動	◎「やまなしキャリア・パスポート」についての共通理解を図る。 ○本校のキャリア教育や指導法について共通理解を図る。	【組織的・系統的なキャリア教育】 ■年間指導計画を確実に実施し、キャリア教育講演会や若桐講座の実施を継続していく。	3.4	3.2 (3.2)
			■年度の途中で作成するキャリア・パスポートに保護者のコメントをもらったり、学校HPなどで発信したりすることを通して、保護者に本校のキャリア教育の成果などを知ってもらう機会を作る。	3	
5	生徒指導	◎QU、生活実態把握アンケートを定期的実施し、結果を分析し、活用するとともに、全職員で情報を共有しながら、指導を適切に行う。 ○公共交通機関のマナー、登下校のマナーなどを徹底し、地域に愛される附中生を目指す。	【QU調査・生活実態把握アンケート】 ■QUは6月・11月、生活実態把握アンケートは7月・11月・2月に実施し、調査結果をもとに速やかに対応する。	3.6	3.3 (3.5)
			■当月の職員会議をいじめ対策委員会と位置づけ、結果及び指導の方向性を全職員で検討・共有するとともに、早期対応に努める。	3.6	
			【マナーの徹底】 □電車通学・バス通学・自転車通学・歩行通学それぞれのマナーに関する指導を、学年や学級で行い、生徒の意識改善に努める。	2.9	
			■下校指導の計画に基づき、全職員で下校指導を行う。	3	
6	安全管理	◎安全点検表の完全デジタル化を実施し、安全点検の結果を職員が共有できるようにする。 ○防災訓練の時期であつたり方法であつたりをより実際の状況や想定できる危険箇所など生徒の生活に即した近い形で行う。	【安全点検表のデジタル化】 ■今までは偶数月に手書きの紙を配り、安全点検を行っていたが、少しでも職員、担当の負担軽減のためにデジタルで行うようにする。	3.4	3.5 (3.3)
			■定期的に行う危険箇所の把握についてもデジタル化して職員に共有がはかれるようにしていく。	3.4	
			【実際に即した避難訓練の実施】 ■様々な災害を想定し、いつも決まった訓練ではなく、火災や地震、アラートに対応するなど様々な状況を生徒に想定させることができるような避難訓練の方法を考えていく。	3.5	
			■無予告での避難訓練は引き続き実施していくが、実施時期と実施時間については新年度に担当で原案を考える。	3.7	

No.	評価項目	R4目標	R4改善策	評価	総合評価 ()は昨年度
7	安全管理 交通指導	<p>◎生徒の交通ルールやマナーに対する規範意識を高める。</p> <p>○交通委員会の生徒主体の活動で、課題を解決していくことを目指す。</p>	<p>【情報発信】(学校としてどうだったか)</p> <p>■新年度始まってすぐ(4月中)に、各学年の現状を踏まえた交通安全指導を交通安全主任と交通安全担当を中心に行う。</p>	3.5	3.1 (3.6)
			<p>【交通委員会の取り組み】</p> <p>■ヘルメット点検の活動を週一に設定したり、登下校で交通ルールが緩みがちな週の初めと終わりに呼びかけを継続的に行うことで生徒の主体的な活動を促す。</p>	3.3	
			<p>□交通委員長がヘルメット点検の結果報告を昼の放送で行う。</p>	2.5	
8	特別支援教育	<p>◎より充実した支援体制を構築するために、特別支援教育に関して大学との連携を積極的に行う。</p> <p>○必要に応じてケース会議を行い、関係職員で連携した支援を目指す。</p>	<p>【支援体制の徹底】</p> <p>■川本先生など、大学の専門的な知識のある先生と連携して助言をいただいたり、附属中の実態に合った内容の講義を実施したりする。</p>	3.3	3.3 (3.2)
			<p>【ケース会議】</p> <p>■ケース会議を実施する際には、専門の先生に入っただき、適切な支援について情報交換ができるようにする。</p>	3.3	
			<p>■ケース会議等で確認された対応の仕方などは、生徒指導部会を通じて各職員に周知し、職員会議でも確認することで全職員で共通理解のもと、対応できるようにする。</p>	3.2	
9	教育相談	<p>◎SCや学年、学級担任、養護教諭と連絡を取って、情報の共有を図り、校内が連携した相談体制を目指す。</p> <p>○教育相談の充実に努め、SCと教員間のコンサルテーションの場を設定する。</p>	<p>【情報の共有】</p> <p>■生徒指導部会の中で各学年の生徒の情報を共有し、支援の仕方やSCの利用を検討する。</p>	3.3	3.3 (3.1)
			<p>【SCとの連携】</p> <p>■相談室の空き時間を利用して、SCと学級担任等とのコンサルテーションができるように、相談の予約状況を職員で共有していく。</p>	3.3	
10	組織運営	<p>○全職員で情報を共有化できるよう、伝達方法の工夫・改善につとめる。</p> <p>◎働き方改革を実効性のあるものとするために、効果的な組織運営につとめ、職員に負担の軽減につとめる。</p>	<p>【情報の共有】</p> <p>■学校運営や学年運営等で「報告、連絡、相談(ほうれんそう)」を日頃から強く意識し、情報の共有を徹底する。</p>	3.1	3.1 (3.0)
			<p>【効果的な組織運営】</p> <p>■担当者全員が分担して取り組めるように、本校の課題に合わせて細分化し、明確化を図った分掌内容を担当者に割り振る。</p>	3.2	
			<p>■行事の精選・縮小については、実施時期や内容・取組方法等を含め、軽減できることを段階的(学年・分掌→企画・運営委員会→職員会議)に模索し、次年度年間行事予定の作成時に合わせて検討する。</p>	3.2	
			<p>□部活動において、参加する大会の精選や、(全ての部ではないが)部活動指導員を本格的に導入し、職員の超過時間の削減に努める。</p>	2.7	
11	学校評価	<p>○より精度の高い自己評価となるよう、評価の対象の明確化や、評価項目の重点化に努める。</p>	<p>【評価方法の見直し】</p> <p>■評価の際、「自分としてどうであったか」、「学校全体としてどうであったか」という2つの視点から自己評価を行い、評価の精度を更に高める。</p> <p>■改善策1つ1つについてどうであったかを問い、取り組めたかどうかを可視化できる評価方法とする。</p>		<p>項目には入れておくが、自己評価をする対象にはしない。</p>
12	情報化推進	<p>◎ICT端末の効果的な利活用</p> <p>○情報モラル教育の推進</p>	<p>【ICT活用】</p> <p>■授業支援クラウド(ロイノート・スクール、Google Workspace for Educationなど)のシステムを活用した教育実践(学校運営や授業以外の生徒への学習指導・生活指導等)を通年で行う。</p>	3.7	3.4 (3.5)
			<p>【情報モラル教育】</p> <p>■生徒指導と連携し、情報モラル教育の推進を行う。</p>	3.1	